

令和4年度事業報告書 <あじさい園ホームヘルパーステーション>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：地域に密着し、その人らしい生活が継続できるよう、自立生活支援を目指す

1. 住み慣れた地域で尊厳のある生活が継続できるよう支援する

- ①利用者の言葉を傾聴し、一人ひとりの可能性に着目し、出来る限り残存機能が活かせるよう、生活環境を整えることで、安心した在宅生活をサポートすることができた。
- ②利用者が安心、安全に過ごせるよう、地域住民とも良好な関係を築き、フォーマル、インフォーマルの両面から情報共有し、可能な限り在宅生活が維持できるよう努めた。
- ③自然災害、感染症対策は平時の対応、発生時の対応を日頃から意識し、訪問時は必ず車中に感染予防具を所持し、常に緊張感を持って訪問体勢に備えた。緊急連絡先一覧表やハザードマップにて避難場所の再確認を行った。

2. 質の高いサービスの提供と多職種連携

- ①コロナ禍の長期化より、行動制限され、利用者のうつ症状や生活意欲低下など、日々の状態変化、家族の相談から、ニーズや課題をケアマネージャーと密に相談。一人ひとりに添ったケアに繋がった。また、利用者の休園時には、可能な限り調整し訪問を行い、サービスを提供し信頼関係を築く事ができた。
- ②多職種との情報共有、アセスメント時の本人の意欲や意向の聞き取り、モニタリングにて残存機能を活かせるよう、訪問計画の検討、見直しを行い、自立生活支援サービスの提供を図った。

3. 職員の資質向上と魅力ある職場環境

- ①WEB研修や、ネット配信研修への参加にて、介護業務の知識や技術、人材育成等、幅広いスキルを身に着けることの重要性を再確認し、職員同士の意見交換にてサービスの質の向上に努めた。
- ②職員同士のコミュニケーションに心掛け、有休の取りやすい勤務日程をたて、リフレッシュを図った。